

## 会議のまとめ（井上のイメージ）

### ◆WGメンバーの想い ～子どもたちに「生き抜く力」を！

- ・学ぶ意味をおしえたい
- ・さまざまな経験をつませたい

#### でも、今、学校では…

少子化（児童・生徒数減）、結果先生も減  
建物の維持（修繕）にお金がかかっている

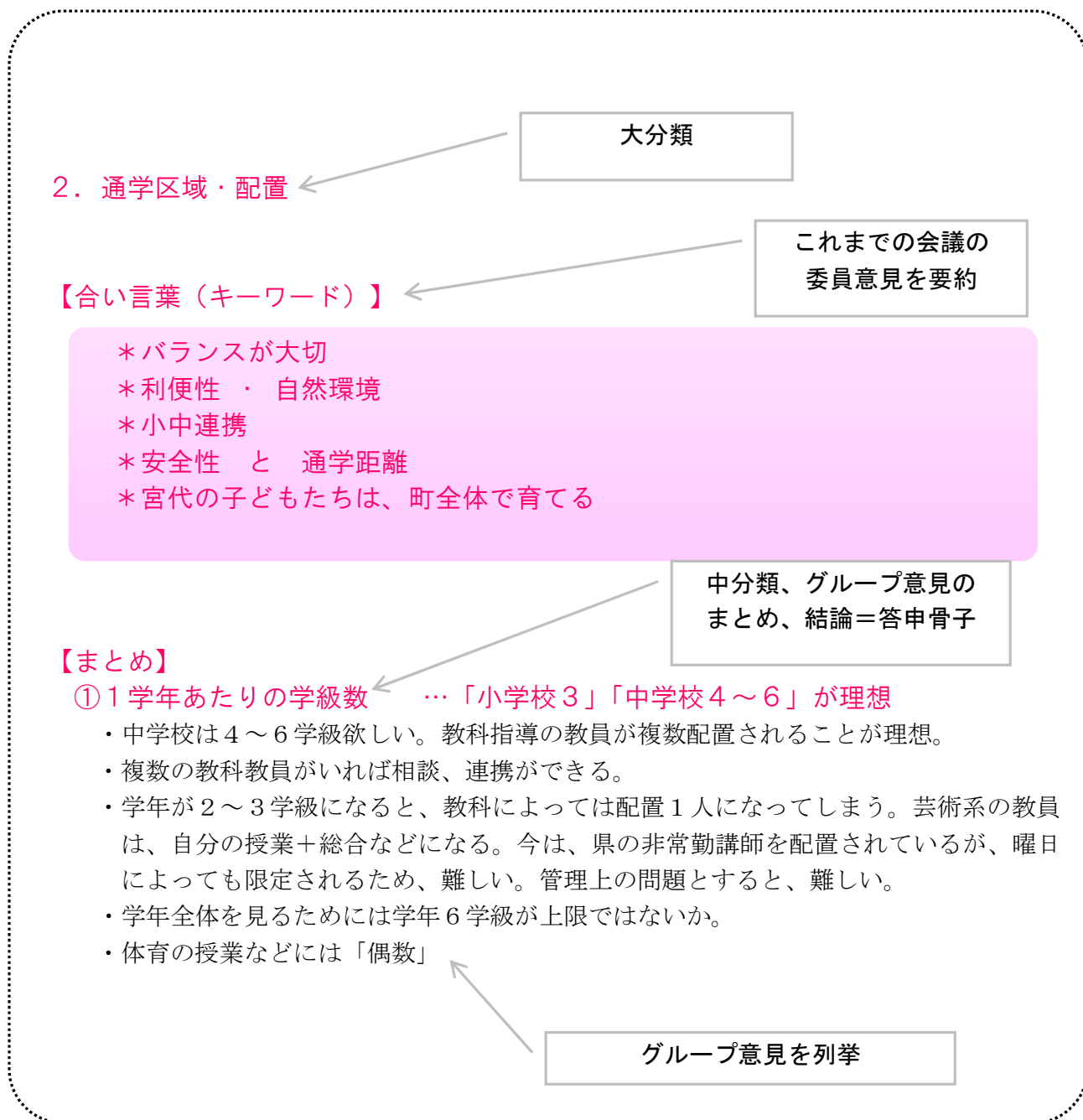
### ◆だ・か・ら こうしよう！ ～想いを遂げるための方法

- ・適正な学校規模で…
  - 一学年あたりの学級数 「小学校3 / 中学校4（～6）」
  - 一学級あたりの児童・生徒数 「おおむね30人」
- ・様々な取り組みを…  
環境教育、多分化、道徳教育、異年齢交流、学校間交流 ……
- ・安全対策と教育施設的环境も…
  - 子育て支援施設
  - 図書館機能
  - 通学距離 「小学校は2km程度まで」
  - 安全確保（→ 次回までの宿題）
- ・地域のちからで… 「宮代町の子どもたちは町全体で育てる」  
学校を地域で支援するしくみ

という中で、次ページに構成（案）として整理してみました。↓

## 構成(案)

これまでの会議で、各委員から出された意見を分類ごとにまとめ、これに見出しと方向(結論)を追加しました。また、結論に至っていないものについては【検討中】としています。



という構成に基づき、整理した原案が次ページ以降です。

## 資料 2

### 宮代町の教育で「良い」「残したい」ところ (WGまとめ)

#### 1. 宮代町らしい教育の取組み

##### 【合い言葉 (キーワード)】

- \* バランスと調和
- \* 様々な教育活動で骨太の学力をはぐくむ
- \* 自律的な活動が子どもをたくましく育てる
- \* 自主性・主体性を大事にした活動の重視
- \* 異年齢交流で経験をつむ
- \* 小中連携、一貫教育
- \* あいさつと礼儀が身についている
- \* 地域との連携・交流

##### 【取組み】

###### ①環境教育

- ・現在は「身の回り」の教育、将来はもっと広く、中学へもつながるようにしたい。
- ・キッズ ISO を中学で行うことは難しい。マニュアルも、ゴールもない。
- ・「中級編」を活用するという方法がある。総合学習に組み入れる、という方法もある。
- ・自分たちがどのように進めていけばよいか、ということを支援する組織が必要。
- ・体系化するテキストを作る。
- ・学校だけで実践が困難であれば地域で支える仕組みがあっても良い
- ・大学・地域・父母・・・子どもは忙しいというが、方策はある。
- ・「宮代エコサミット」があり、「子ども環境会議(今年4年目、各学校2名の委員が中心になって校内エコ活動をやった)」さらに発展させたい。
- ・宿題を通した家庭学習の習慣づくり。

###### ②多文化

- ・多文化の中で自分たちが生きるということ。
- ・学校教育の中では、英語教育を宮代独自のものとして展開したい。すべてを英語で話すということ。口うつしで伝えていく。

###### ③道徳教育

- ・宮代町が今取り組んでいる道徳教育。
- ・宮代町が作成した郷土教材を大事にする。(人を大事にし、格差のない、民主的な)
- ・小中学校7校間に学校差がなく、「あたりまえ」の教育をしていること。

#### ④小中連携・一貫教育の充実と発展

- ・子ども・教科指導の一貫性をすすめる
- ・小中の連携は、各中学校区を中心に、特色のある連携を實踐中。
- ・先生方が仲が良いのも連携の賜物
- ・中学生が小学生を教える機会も、共に育つきっかけ
- ・中学校の運動会へ小学校高学年の子たちが参加（鼓笛の演奏）

#### ⑤宮代の子どもたちは町全体で育てる

- ・地域との連携、交流・支援のための公益団体組織づくりや組織・地域づくり

#### ⑥異年齢交流の充実と発展 …様々な体験を積ませたい

- ・掃除、遠足、休み時間など、上級生が下級生の面倒をよくみる機会、中学進学にもつながっていく。
- ・高学年は責任感を培う好機、低学年は高学年を頼り、良い関係につながる。
- ・少子化、兄弟の少ない現代では必要な取り組み

#### ⑦宮代町の学校を超えた交流の推進 …様々な体験を積ませたい

- ・小中学校と高校、大学、特別支援学校など

#### ⑧子ども文化の交流 …様々な体験を積ませたい

- ・綱引き大会、郷土かるた大会など、学校間交流
- ・俳句づくりで心豊かに

#### ⑨学校支援の仕組み …支援する組織づくり

- ・登下校のパトロールに多数が参加
- ・各校でサマースクールが実施されている。
- ・図書を始め、ボランティアによる教育参加がある。
- ・地域の方が読み聞かせをしている。
- ・地域に大事にされている、守られていれば学校に対するイタズラも少なくなる。
- ・学校を運営する上では、地域と共存していくことは大切。  
（苦情に発展しないことが大切）
- ・卒業生の保護者が多いと心強い面も。
- ・学校施設開放も地域連携のひとつ。
- ・地域住民も招待して、地域一体で運動会をやるというのが魅力的。
- ・学校が「地域コミュニティの中核」であってほしい、ということからコミュニティを吸収できないか。
- ・児童生徒数の減少によりPTA会費も減。
- ・予算が確保できず、先生が樹木消毒や剪定を実施。バザーへの期待度は高い。
- ・組織づくり、PTA組織の他に「学校育成会」というものを設けている事例も。  
地域ぐるみで学校を応援するもの。

## 2. 通学区域・配置

### 【合い言葉（キーワード）】

- \* バランスが大切
- \* 利便性 ・ 自然環境
- \* 小中連携
- \* 安全性 と 通学距離
- \* 宮代の子どもたちは、町全体で育てる

### 【まとめ】

#### ① 1学年あたりの学級数 … 「小学校3」「中学校4～6」が理想

- ・ 中学校は4～6学級欲しい。教科指導の教員が複数配置されることが理想。
- ・ 複数の教科教員がいれば相談、連携ができる。
- ・ 学年が2～3学級になると、教科によっては配置1人になってしまう。芸術系の教員は、自分の授業＋総合などになる。今は、県の非常勤講師を配置されているが、曜日によっても限定されるため、難しい。管理上の問題とすると、難しい。
- ・ 学年全体を見るためには学年6学級が上限ではないか。
- ・ 体育の授業などには「偶数」学級がよい。
- ・ クラス替えや、友人の充実が図れる規模が望ましい。
- ・ 児童生徒数が多くなれば、学校行事が盛り上がる。
- ・ PTA会員の数も増加し、会費増収、人手増も期待できる。
- ・ 小学校では2学級は少なく、3学級が理想ではないか。

#### ② 1学級あたりの児童生徒数 … 「30人」程度が理想

- ・ 学級数同様、相応の人数は必要
- ・ 現行国基準は「40人／学級」、小学1、2年生は「35人／学級」
- ・ 教育の質を確保するためには、「評価権」のある正規が望ましい。
- ・ 町費で教員を採用、加員して「30人学級」を実現するよう働きかけたい
- ・ 児童数減 清掃分担が行き届かない。
- ・ 生徒数が少なくなり、部活動の種類や部員の数が限られている。

#### ③ 学校自由選択性 … 存続したい

- ・ 現行の制度を存続する。
- ・ 但し、一部地域では隣近所で違う学校に通わせているケースもあり、地域コミュニティのくずれは懸念される事項。

④通学路・距離 …小学校では徒歩を基本として、「2 km」程度を上限としたい

- ・学校は「避難所」でもあるので、歩いていける距離が良い
- ・遠方となる場合は「スクールバス」導入も考えたい。
- ・昨今話題の「カミナリ」の安全対策ができないか。
- ・通学路として「車どおりの多い駅前」「五差路」のような危険箇所は回避したい。

⑤学校の場所 …【検討中】

- ・学区の中心にあり、通学も安全。
- ・町の端の方にあるため、不審者関係の問題も。
- ・駅からの距離が近いと「電車を使った遠征」も便利。
- ・小中学校が隣接していると「一貫教育」が容易、連携がとりやすい。
- ・自然環境が多く、生き物に触れ合う機会多々。
- ・住宅地内の小学校のため、近隣への音の配慮が必要なケースもある。
- ・小学校→中学校、同じ児童が進学する場合、あまり緊張感をもたずに中学校へ。
- ・複数小学校から進学する中学校は、人間関係をリセットして取り組める部分も。  
また、2つの小学校の良いところを取り入れることも可能。

### 3. 校舎

#### 【合い言葉（キーワード）】

- \*校舎への「愛着」と「誇り」
- \*ゆとりある広さ
- \*安心・安全の確保

#### 【こんな学校がよい】

##### ①建物のつくり、校庭 …【検討中】

- ・「木」を活用した校舎が良い
- ・子どもの記憶に残る建物の特徴
- ・建物構造により丈夫な体を育めないか
- ・校庭が広く、のびのびと生活ができています。学年を分けて活動できる。
- ・教育環境としては、全力でおもいっきりできる校庭が魅力（体力向上）。
- ・道路にボールがとびだしたり、民家の屋根に飛んでいかない環境。
- ・年数を経ており校舎の老朽化が著しい、雨漏りなど懸案事項多々。
- ・夏の暑さが増しており、エアコンが必要。

##### ②通学路 …【検討中】

- ・車両と子どもの銅線交錯は回避したい。

##### ③安全・安心 …【検討中】

- ・人（学校監視員の存在意義は大きい。）
- ・設備（防犯カメラ等）

##### ④機能 …図書館が併設されていると良い

- ・学校に図書館機能があったらいいと思う。高齢化社会も背景として身近な場所にミディアムサイズの図書館があるといい。
- ・スタイルは要検討、牛久市のような「地域開放型」と、町立図書館を併設した「多機能型」のいずれか？
- ・牛久市では地域開放されていたが、幼児のための本は貸し出さない、とのこと。

##### ⑤機能 …子育て機能の集約。

- ・小学校に保育施設があればよいと思う。小学校を見る、小学校が見る。子どもの姿勢がいい。
- ・PTA の視点でも、一時保育を利用して小学校の中に保育園があると学校行事に参加

しやすいのではないか。

- ・また学童と保育園の迎えも1回で済む。
- ・小1プロブレムが解決に向かうかもしれない。新しく子育てに向かうお母さんにとってもよかった。
- ・札幌市では、小学校の中に保育園がある。子ども園にすることもできる。子どもが同じ場所にいるだけで、親も学校で準備する。

#### ⑥機能 …地域との交流施設

- ・陽だまりサロン。校内にお年寄たちとふれ合える場所がある。